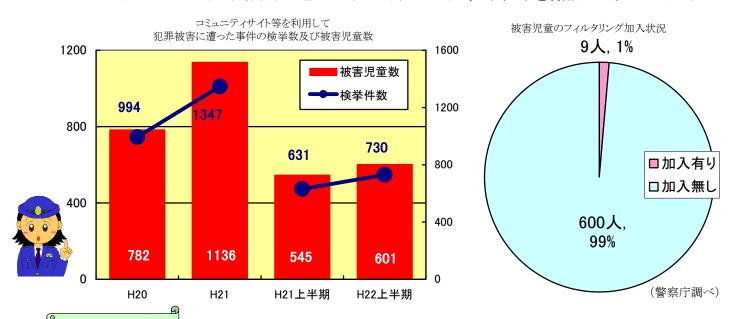
携帯を持たせる 親だからできることがある。 親にしかできないことがある。



危険なサイトにつながらないよう、フィルタリングサービス を利用しましょう

コミュニティサイトに起因する犯罪被害に遭った子供の9割以上が、フィルタリングを利用していませんでした。



被害事例

- ・女子高校生(15歳)は、コミュニティーサイトを通じて知り合った会社員男性(41歳)から、以前交換した写真をネットに流出すると脅され、みだらな行為を強要される被害に遭った。
- ・女子高校生(15歳)は、携帯電話のゲームサイトを通じて知り合った無職男性(30歳) に言葉巧みに誘い出され、ホテルに連れ込まれた上、みだらな行為をされる被害に遭った。
- ・女子中学生(14歳)は、コミュニティーサイトを通じて知り合った風俗店経営の男性 (23歳)に言葉巧みに誘い出され、風俗店で働かされた上、他の男性を相手にみだらな 行為をさせられる被害に遭った。



お子さんの年齢・用途に応じた安全なフィルタリングを利用しましょう。

「ホワイトリスト方式のススメ」

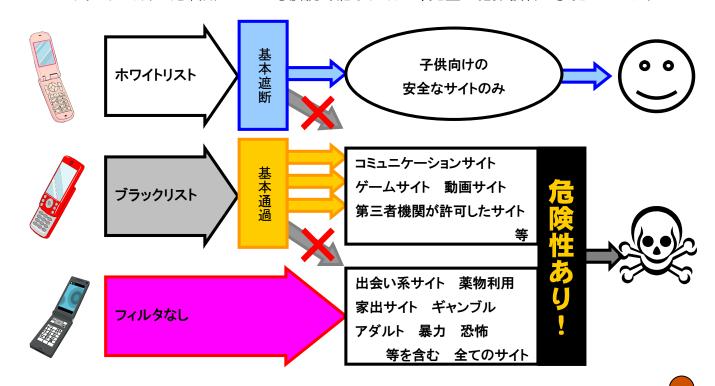
フィルタリングには、次の2つの方式がありますが、ホワイトリスト方式を利用しましょう

1 ホワイトリスト方式

子供にとって安心なサイトのみに接続を可能とする方式 必要なサイトには親の許可の元、接続できるようにするカスタマイズサービスもあります

2 ブラックリスト方式

子供に有害であるとされたカテゴリやサイトへの接続をブロックする方式 ブラックリスト方式を利用していても接続可能なサイトで、児童の犯罪被害が多発しています



フィルタリングを付けない携帯電話を お子さんに持たせることは、とても危険です。 お子さんの携帯電話にフィルタリングを付ける ことは、親としての責務です。

- *フィルタリングは、原則無料で提供され、販売店での手続も簡単です。
- *販売員の方からフィルタリングについての十分な説明がない場合は、詳しい説明を求めましょう。

愛知県警察本部 少年課・生活安全総務課サイバー犯罪対策室 【電話】052-951-1611(代表)

